

「高規格道路十字連携軸の整備促進に向けて！」  
第20回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会

## 大会決議

山形県最上地域は、四季折々の豊かな自然や魅力ある観光資源が多く、また安定的な食糧供給が可能な東北有数の農業生産地帯である。しかし、当地域は周囲を高く険しい山々に囲まれており、中山間地が多く、尚且つ、特別豪雪地帯という厳しい自然環境下にあることから、更なる発展を期するためには、四季を通じ安全で災害に強い交通網等の整備が急務である。

とりわけ、自動車交通への依存度が高い当地域において、「高規格道路十字連携軸」、すなわち縦軸となる「東北中央自動車道」と、横軸となる「新庄酒田道路」「石巻新庄道路」は、人・物・文化の地域間交流を促進し、農業・産業・観光の活性化、災害に対する強靱化、医療サービス向上等の観点から整備効果は極めて大きく、早期供用は地域の悲願である。

また、コロナ禍で社会情勢が大きく変化している今、分散型の国土利用への需要に対応し、さらにポストコロナ時代の「新たな日常」の構築と地方創生並びに国土強靱化を推進し、安全・安心で豊かな生活を営むことができる地域を実現するためには、広域的な幹線道路ネットワークの形成が必要不可欠である。

以上のことから、ここに、関係地域の方々、関係団体の熱意を結集し、次の事項について特段の配慮を講じられるよう強く要望する。

一 東北地方の復興及び地域経済の活性化並びに生産性の向上をもたらす、いわゆる社会資本のストック効果を早期に発揮させるため、以下の「高規格道路十字連携軸」を早期に整備すること。

●東北中央自動車道

- 「泉田道路」、「新庄金山道路」及び「横堀道路」の早期完成を図ること。
- 「金山道路」及び「真室川雄勝道路」の整備促進を図ること。

●新庄酒田道路

- 「新庄古口道路」及び「高屋道路」の早期完成を図ること。
- 「高屋防災」及び「戸沢立川道路」の整備促進を図ること。
- 調査中区間（未事業化区間）の着実な事業化に向けた調査推進を図ること。

●石巻新庄道路

- 災害発生時の迅速な復旧、復興に資する、高規格道路と直轄国道のダブルネットワーク化を図るため、調査中区間の事業化に向けた調査推進を図ること。

- 一 地域経済力の強化、新型コロナ収束後の官民を挙げた経済活動の回復、迅速で円滑な物流の実現、災害時における経済や生活の安定確保のため、令和3年7月に策定された「東北地方新広域道路交通計画」に高規格道路として位置付けられた、東北中央自動車道、新庄酒田道路及び石巻新庄道路の事業中・調査中区间について、確実に重要物流道路に指定し、計画的・継続的に必要な機能強化や重点整備を図り、ネットワークの強化を図ること。
- 一 国の公共事業関係費を、平成21年度以前の7～8兆円規模に回復させ、長期的・安定的に道路整備や老朽化対策を含む維持管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、公共事業関係費の大幅な増額を図ること。
- 一 急速な老朽化が危惧される道路施設の安全対策を推進すること。併せて、雪害、激甚化・頻発化する風水害及び東日本大震災等に匹敵する大規模自然災害から人々を守るために、ダブルネットワークの構築や冬期交通の確保を含めた支援体制を着実に実施するとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の計画的な推進と、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。

以上、決議する。

令和4年2月7日

最 上 開 発 協 議 会  
新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会  
国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会  
石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会